

## 日本レーザー治療学会学会誌執筆要項

1. 投稿は本学会会則第 47 条に従い、原則として本学会学術集会において発表された内容を論文化したものに限り、本誌投稿は、原則として本会会員に限り、本誌の目的に沿って、他に掲載されたことのない論文に限り、投稿論文は、法律あるいは人道的に十分な配慮がなされている必要があります。
5. 原稿の採否は、日本レーザー治療学会において決定します。なお、投稿後、編集方針に従って、原稿の加筆、削除など編集部より著者に求めることがありますので、ご了承ください。
6. 原稿送付先: 尚、著者の手元に一部コピーを保存してください。  
【mail】 machida@m-planning-o.co.jp  
※件名に「日本レーザー治療学会誌原稿」と明記してください。
7. 原稿記載様式
  - ① 1 頁目: 表題, ランニングタイトル (15 字以内), 著者名, 所属機関名, 主著者 (校正者) の連絡先 (〒, 住所, 電話番号) を記載してください。
  - ② 2 頁目: 要旨 (400 字以内) および索引用語 (3 ~ 5 個以内) を記載してください。
  - ③ 3 頁目: 1 頁目の内容を英文で綴ってください。
  - ④ 4 頁目: 英文抄録 (200 語以内) および Keywords (3 ~ 5 語以内) をダブルスペースにて記載してください。
  - ⑤ 5 頁目: 本文の書き出しは 5 頁目からとし、はじめに、方法、結果、考察、まとめの順に記載し文献は一括して最後に引用順に記載してください。
  - ⑥ 本文の省略記号医学用語は、日本語は日本医学用語辞典に従ってください。
  - ⑦ 薬品名は一般名を用い、商品名は一般名の後に括弧にして記載してください。
  - ⑧ 図、表、写真は本文の原稿とは別にし、文中に挿入箇所を明記してください。  
図、表、写真 (原則として白黒、カラーの場合は実費負担) の表題および説明は原則として和文とします。  
なお、他誌からの引用は、著者および出版社の許可を受けてください。
8. 原稿枚数の目安: 400 字詰原稿用紙換算で、原著・総説 25 枚以内、症例報告 20 枚以内でお願いいたします。
9. 原稿送付様式: 電子媒体 (FD, CD-R など) で原稿をお受けいたします。  
抜けや文字化け、上付き・下付きの確認のため、必ずプリントアウトしたものを郵送してください。  
※メールに添付してデータをお送りいただいた際にもプリントアウトしたものを郵送してください。
  - ① OS (Windows / Macintosh) をご明記ください。
  - ② 作成アプリケーション及びテキスト形式 (シンプルテキスト) の両方を保存してください。  
アプリケーションソフト名とそのバージョンは必ずご明記ください。
  - ③ 表組に関しましては、プリントアウトをみて、こちらで作りなおしますが、データはテキスト保存をお願いします。
10. 文献: 本文の末尾に引用順に並べてください。表記法は次のとおりです。  
誌名は一般の省略法 (Index Medicus など) による。
  - 1) 雑誌の場合—著者名 (3 名までで et al.): 論文名. 雑誌名 巻: 初頁—終頁, 発行年  
〔例〕柳田 尚, Wilhelm Erdmann: 幻肢痛の発現機序—痛みの記憶, 性質, 範囲との関連性—.  
ペインクリニック 15: 573-577, 1994  
Thouboun KK, Hough LB, Nalwalk JW et al.: Histamine-induced modulation of nociceptive responses.  
Pain 58: 29-37, 1994
  - 2) 単行本の場合—著者名 (3 名までで et al.): 論文名, 書名. (編集者名). 発行所, 発行地, 発行年, 初頁—終頁  
〔例〕市岡正道, 戸田一雄: 針麻酔の機序. 痛み—基礎と臨床—. (市岡正道, 中浜 博. 山村秀夫・編集),  
朝倉書店, 東京, 1980. p183-189
11. 校正: 著者校正は原則として初校 1 回のみとします。再校は編集者が行います。
12. 別刷りは 20 部まで無料で提供致します。
13. 発行日 各巻 1 号: 学術集会開催にあわせ、抄録集として発刊  
各巻 2 号: 毎年 12 月 (予定)
14. 締切日 2号締切り日は毎年 10 月 31 日

15. 連絡先：日本レーザー治療学会誌編集部  
〒 350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷 38 番地  
埼玉医科大学病院 麻酔科内  
日本レーザー治療学会誌編集部 井手康雄 宛  
mail: yide@saitama-med.ac.jp TEL/FAX : 049-276-1269

## 付則

1. 平成 19 年 7 月 1 日改正
2. 平成 22 年 7 月 6 日改正
3. 令和 7 年 6 月 28 日改正

## 《日本レーザー治療学会誌編集委員》

井手 康雄 小川 節郎 河谷 正仁 久保田潤一郎 藏本 博行 斎藤 明義

## 日本レーザー治療学会 倫理規定

- I 日本レーザー治療学会誌に投稿する論文ならびに日本レーザー治療学会学術集会に発表する演題は以下にそったものとし、該当する事項は論文中ならびに演題中に明記する。
  - ① 投稿論文ならびに発表演題はそれ自体または本質的に類似性を持つものが、過去に公開されていないこと。
  - ② 著作権法を遵守し、他の著作物の著作権を侵害していないこと、許諾が必要な転載については著物が許諾を書面で得ていること。
  - ③ ヒトを対象とする内容についてはヘルシンキ宣言を遵守し、その旨に従い「倫理的におこなわれ」ている、かつ「インフォームドコンセントがかわされ」ていること。
  - ④ 動物を対象とする内容については、「実験動物の飼養及び保管ならびに苦痛の軽減に関する基準」等を遵守していること。
  - ⑤ 国内関係省庁機関による「ヒトを対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」「手術等で摘出されたヒト組織を用いた研究指針の在り方について」「個人情報保護ガイドライン」等最新の関連法規、指針を遵守していること。
  - ⑥ 個人情報については個人情報保護に基づき匿名化等適切に配慮すること。
  - ⑦ 所属施設の倫理委員会の承認を得ている場合には、その旨を明記すること。
  - ⑧ 利益相反 (conflict of interest:COI) の有無を明示すること。COI の詳細については本規定とは別に細則を制定する。

### COI (conflict of interest : 利益相反) に関する細則

日本レーザー治療学会誌に投稿する論文の筆頭演者ならびに日本レーザー治療学会学術集会に発表する演題の筆頭演者は COI (conflict of interest : 利益相反) に関して以下の細則に従って申告しなければならない。

- ① 論文の筆頭著者、口演の筆頭演者が開示する義務のある COI 状態は、関連する企業や営利を目的とする団体に関わるものに限定する。
- ② 開示が必要なものは論文では、論文投稿 1 年前から投稿時までのもの、口演では、抄録提出から 1 年前から発表時までのものとする。
- ③ 論文の筆頭著者は投稿時に、投稿規定に定める様式 1 により COI 状態を明らかにし、論文と一緒に編集部へ送付しなければならない。
- ④ 口演の筆頭演者は様式 2 により COI 状態を確認し、冒頭またはタイトルスライドの後の 2 枚目のスライドに COI 状態を開示しなければならない。COI 状態がない場合は様式 3 を用いて、または様式 3 に準じたスライドを作成する。COI 状態がある場合は該当事項を記入した様式 2 を用いてスライドを作成する。  
※様式 1～3 については、本学会ホームページ参照をお願いします。
- ⑤ 倫理委員会は本細則に違反した者を理事会に報告し、倫理委員会において違反の軽重に従い措置を講ずることができる。